



ラン科植物の無菌培養に関する研究

～保護・増殖を試みたラン科植物の紹介～

中央学院高等学校 生物部 ラン科班

～はじめに～

- 私達中央学院高等学校生物部は、創部以来44年間にわたり「ラン科植物の無菌培養に関する研究」を続けてきた。現在までに無菌培養により保護・増殖を試みたラン科植物は、シュンランをはじめ、絶滅危惧種Ⅱ類のアサヒエビネ、絶滅危惧種ⅠA類のホシツルラン、準絶滅危惧種のサギソウ、絶滅危惧種ⅠB類のムカゴトンボなどがある。今回の発表は今までに私達が保護・増殖に取り組んできたラン科植物について紹介する。



シュンラン

学名： *Cymbidium goeringii*

- ラン科植物
- 北海道～九州に
自生している。
- 春に咲くことから春蘭と
いわれている。



アサヒエビネ

学名 : *Calanthe hattorii*

- ラン科植物
- 絶滅危惧種Ⅱ類
- 小笠原諸島の父島, 兄島に
自生している。
- 小笠原諸島の父島の旭山に
多く自生していたことから
その名前の由来になっている。



ホシツルラン

学名 : *Calanthe hoshii*

- ラン科植物
- 絶滅危惧種 I A類⁽²⁰¹⁴⁾
- 自生個体は母島の乳房山
付近に3株が自生するのみ。
- 星典(ほしあつし)さんが
発見したことから
名付けられた。



サギソウ

学名 : *Pecteilis radiata*

- ラン科植物
- 準絶滅危惧種
- 日当たりの良い湿地に
自生している。
- シラサギに似ていることから
その名前の由来に
なっている。



ムカゴトンボ

学名 : *Habenaria flagellifera*

- ラン科植物
- 絶滅危惧種I B類(ED)
- 本州から沖縄に
自生している。
- 『ムカゴ』の由来は、
花序がムカゴソウに
似ているからである。



～現在の活動～

部員9人(3年生3人、2年生1人、1年生5人)

- 希少ラン科植物の無菌培養
による保護・増殖活動



～ムカゴトンボの開花～

- ▶ 私たちが無菌培養により発芽・成長したムカゴトンボが，成東東金食虫植物群落のボランティアの方々によって，試験的な順化に成功し，一昨年に現地産より多少小さいが2株開花した。開花した株について，ボランティアの方々の手により試験的な受粉を実施することができ，目標としている現地への植え戻しに一步近づくことができた。



開花したムカゴトンボ



成長するムカゴトンボ

**ご視聴
ありがとうございました**